

航空自衛隊仕様書		
仕様書の 種類	内容による分類	装備品等仕様書
	性質による分類	個別仕様書
物品番号		仕様書番号
品名 又は 件名	2000G燃料給油車(改)	CPS-V23174-8
		大臣承認 平成 5年 9月 3日
		作成 平成 5年 7月 7日
		改正 令和 元年 8月 6日
		令和 4年 6月 17日
	作成部隊等名	補給本部

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、航空自衛隊において使用する2000G燃料給油車(改) (以下、“給油車”という。)について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書に用いる主な用語及び定義は、C&LPS-V00008の1.2及びC&LPS-Y00007の1.2による。

1.3 種類

種類は、表1によるものとし、調達する種類は、調達要領指定書により指定する。

表1－種類

種類	物品番号	ボトムローディング方式
I型	2320-427-8901-5	フロート方式 ^{a)}
II型	2320-427-5727-5	光方式 ^{a)}
注 ^{a)} フロート方式及び光方式とは、燃料充てん停止感知方式をいう。		

1.4 製品の呼び方

製品の呼び方は、表1の種類による。

例 2000G燃料給油車(改) I型

品 名	2000G燃料給油車（改）
-----	---------------

1.5 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

なお、引用文書に定める内容がこの仕様書に定める内容と相違する場合は、c)を除き、この仕様書に定める内容が優先する。

a) 規格

J I S G 3 1 0 1	一般構造用圧延鋼材
J I S G 3 1 3 1	熱間圧延軟鋼板及び鋼帯
J I S G 3 1 4 1	冷間圧延鋼板及び鋼帯
J I S G 3 4 4 4	一般構造用炭素鋼鋼管
J I S G 3 5 5 5	織金網
J I S G 4 3 0 3	ステンレス鋼棒
J I S G 5 5 0 1	ねずみ鋳鉄品
J I S H 3 2 5 0	銅及び銅合金の棒
J I S H 4 1 0 0	アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材
J I S H 5 1 2 0	銅及び銅合金鋳物
J I S H 5 2 0 2	アルミニウム合金鋳物
J I S K 5 5 7 2	フタル酸樹脂エナメル
J I S K 6 3 4 3	送油用ゴムホース
N D S Z 8 2 0 1	標準色
M S 3 4 9 3	CONNECTOR, PLUG AND CAP ELECTRIC GROUNDING

b) 仕様書

C & L P S - V 0 0 0 0 8	車両等共通仕様書
C & L P S - Y 0 0 0 0 7	調達品等一般共通仕様書
M I L - C - 8 3 4 1 3	CONNECTORS AND ASSEMBLIES, ELECTRICAL, AIRCRAFT GROUNDING, GENERAL SPECIFICATION FOR

c) 法令等

消防法（昭和23年法律第186号）

危険物の規制に関する政令（昭和34年政令第306号）

危険物の規制に関する規則（昭和34年総理府令第55号）

自衛隊の使用する自動車に関する訓令（昭和45年防衛庁訓令第1号）

道路運送車両法（昭和26年法律第185号）

道路運送車両の保安基準の細目を定める告示（平成14年国土交通省告示第619号）

道路運送車両の保安基準の細目を定める告示の一部を改正する告示（平成15年国土交通省告示第1317号）

品 名	2000G燃料給油車（改）
-----	---------------

自衛隊の使用する自動車の保安基準等について（通達）（防経艦第6002号
27.4.24）

国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）
環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成13年環境省告示第11号）

d) その他

J. T. O. 00-25-172 航空機のグランドサービス及び静電気接地とボンディング

2 製品に関する要求

2.1 一般的要求

一般的要求は、次によるほか、C&LPS-V00008の2.1による。

なお、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律に基づく、環境物品等の調達の推進に関する基本方針に規定する燃費基準の適用の有無は、調達要領指定書により指定する。

- a) この給油車は、消防法、危険物の規制に関する政令（以下，“政令”という。）、危険物の規制に関する規則及び自衛隊の使用する自動車に関する訓令（以下，“訓令”という。）に適合しなければならない。
- b) 航空機に対して燃料を給油するために、J. T. O. 00-25-172による静電気の発生防止対策及び各部に絶縁対策を施し、設計製作しなければならない。

2.2 構成

構成は、次による。

- a) シヤシ
- b) 操縦室
- c) タンク
- d) 給油ポンプ・ポンプ回転計
- e) 配管
- f) フィルターセパレータ
- g) 流量計
- h) ホースリール
- i) アース線
- j) アース板
- k) アースポイント
- l) 検尺
- m) ディスチャージホース
- n) インターロック装置
- o) デットマン装置
- p) 機械室
- q) 消火器装置

品 名	2000G燃料給油車（改）
-----	---------------

- r) 電気装置
- s) 元弁急閉装置
- t) 底弁操作装置
- u) 緊急移送停止装置
- v) その他

2.3 構造・形状

2.3.1 構造

構造は、次によるほか、付図2を基準とする。

なお、許容誤差については、製造会社仕様によるほか、細部は、承認図面による。

- a) 市販品のトラックシャシ（6×2）（前2軸及び後1軸）に、操縦室、10000L入りタンク、給油ポンプ、ボトムローディング用配管、ベーパーリカバリー配管、センサー装置、フィルターセパレータ、流量計、ホースリール、配管等を装備する。
- b) 構造堅ろうで、振動が少なく操縦操作が容易で、各種作業の連続運転に耐えなければならない。
- c) シャシ シャシは次による。
 - 1) 機関 機関は、次による。
 - 1.1) 形式 水冷4サイクルディーゼル機関（直接噴射式）
 - 1.2) 気筒数 6～10
 - 1.3) 総排気量 8L以上
 - 1.4) 最高出力 198.58kW以上
 - 1.5) 最大トルク 931.63N・m以上
 - 1.6) 蓄電池 製造会社仕様 2EA
 - 2) 動力伝達装置・走行装置 動力伝達装置及び走行装置は、次による。
 - 2.1) 変速機は、常時嚙合式とし、変速段数は、前進6段以上及び後進1段以上とする。
 - 2.2) クラッチは、乾燥単板式とし、操作方法は、油圧操作式とする。
 - 2.3) 車軸 車軸は、次による。
 - 2.3.1) 前車軸は、逆エリオット型（第1軸及び第2軸とも）とする。
 - 2.3.2) 後車軸は、全浮動軸管式とする。
 - 2.4) 終減速機 終減速機は、製造会社仕様とする。
 - 2.5) ブレーキ装置 ブレーキ装置は、次による。
 - 2.5.1) 常用ブレーキは、空気油圧複合式又は空気式とする。
 - 2.5.2) 駐車ブレーキは、空気式車輪制動式とする。
 - 2.6) 懸架装置は、半だ円形板ばね（前ばね、後ばね及び補助ばね）とする。
 - 2.7) かじ取り装置は、パワーステアリング方式とする。
 - 2.8) フレームは、はしご形とする。

品 名	2000G燃料給油車（改）
-----	---------------

- d) **操縦室** 操縦室は、次によるほか、ティルト式的全鋼製のクローズドキャブとし、製造会社仕様とする。
- 1) 乗車定員は、3名とする。
 - 2) 昇降用握り棒を設ける。
 - 3) 製造会社仕様のアアコンを取り付ける。
 - 4) 製造会社仕様のラジオ（AM/FM）を取り付ける。
 - 5) 運行記録計 [電気式1日計用(120km/h)] を設ける。
 - 6) 航空標識灯の操作スイッチを設ける。
 - 7) エンジンアワメーターを設ける。
 - 8) 粉末消火器ABC・1.8kg・自動車用の取付金具を助手席付近の乗降車の妨げにならない場所に1EA取り付ける。
- e) **タンク** タンクは、次による。
- 1) **形状・寸法・容積** 形状、寸法及び容積は、次による。
 - 1.1) 形状は、だ円筒形とする。
 - 1.2) **寸法** 寸法は、次による。
 - 1.2.1) **だ円長径** 2200mm
 - 1.2.2) **だ円短径** 1200mm
 - 1.2.3) **胴長** 5100mm
 - 1.3) 容積は、10000L以上とする。
 - 2) タンクは、だ円筒形で胴板及び鏡板は、鋼板JISG3101のSS400又は同等のものを電気溶接にて成形する。また、タンク室内は、間仕切り板で3室に区画し、各室の容量は、極力充てん時の液面バランスを考慮して設定する。
 - 3) タンクは、サブフレームに電気溶接し、緩衝物を介してシャシフレームにボルト締めとし、衝撃、振動による緩み及び移動のないように取り付ける。また、タンク上面は、厚さ3.2mm及び幅850mmの縞鋼板、JISG3101のSS400又は同等のものにてキャットウォークを設置し、マンホール（製造会社仕様）3EAを設ける。
なお、タンク左右に外径28mmの鋼管、JISG3444のSTK400又は同等のものにて昇降用はしごを設ける。
 - 4) マンホールふたには、注油口及びそのふた並びに安全弁を設け、安全弁は、内圧20kpa～24kpaで作動する2重弁式とする。
 - 5) タンク上面には、防護わくを取り付ける。
 - 6) **センサー装置** センサー装置は、次による。
 - 6.1) I型は、各タンク内にフロート方式のセンサーを設け、タンク内液面が規定の高さになったとき自動閉鎖弁油圧回路を閉鎖する構造とする。

品 名	2000G燃料給油車（改）
-----	---------------

6.2) II型は、各タンク内に光方式のセンサーを設け、タンク内液面が規定の高さになったとき燃料施設のモニターへの電気パルス信号の返信を中止する構造とする。

f) 給油ポンプ・ポンプ回転計

1) 給油ポンプ 給油ポンプは、次によるほか、PTOにより駆動されるうず巻ポンプで、ケースは、鋳鉄製又はアルミニウム合金鋳物製とそれぞれ同等のものとし、羽根車は、JIS H 5120のCAC403、JIS H 5202のAC2Aとそれぞれ同等のものとし、ポンプ軸は、JIS G 4303のSUS304又は合金鋼製とそれぞれ同等のものを使用する。

- 1.1) 形式 うず巻ポンプ
- 1.2) 口径 75 mm×75 mm
- 1.3) 定格吐出量 600 L/min (ポンプ回転数 2630 rpm)
- 1.4) 揚程 35 m以上
- 1.5) ポンプ効率 50 %以上

2) ポンプ回転計 ポンプ回転計は、機械室に設ける。

g) 配管 配管は、充てん、吸入、排油及び吐出が可能な構造とし、付図1を基準とするほか、次による。

なお、給油時圧力のかかる部分については、最大常用圧力(0.45MPa)の1.5倍以上の圧力で10分間以上の水圧試験を製造時に行い、漏えい、その他に異常があってはならない。

1) ボトムローディング用配管 ボトムローディング用配管は、タンク底弁に連結して設けるほか、細部は、次による。

- 1.1) 充てん時発生するタンク内のベーパーを燃料施設のベーパー受入装置へ送るためのタンク底弁と連動するベーパー回収弁及び配管を設ける。
- 1.2) I型のボトムローディング用配管系統 I型のボトムローディング用配管系統は、次による。
 - 1.2.1) タンク内センサーにより油圧回路を介して自動的に充てんを停止する自動閉鎖弁を設ける。
 - 1.2.2) 後車輪前方左右(付図1基準)に充てん口を各1EA設け、燃料施設と結合可能なボトムローディングアダプタ(エアクラフトカップリング)を取り付ける。
 - 1.2.3) 後車輪前方左右(付図1基準)にベーパー受入装置と結合するためのカップリング(自動閉鎖式、ふた付)を各1EA設ける。ただし、ベーパー受入装置がない燃料施設においても充てんが可能な構造とする。
- 1.3) II型のボトムローディング用配管系統 II型のボトムローディング用配管系統は、次による。
 - 1.3.1) 後車輪前方左右(付図1基準)に充てん口を各1EA設け、燃料施設と結合可能なボトムローディングアダプタを取り付ける。

品 名	2000G燃料給油車（改）
-----	---------------

- 1.3.2) 後車輪前方左右（付図1基準）にペーパー受入装置と結合するためのカップリング（自動閉鎖式及びふた付）を各1EA設ける。
- 2) ラインストレナは、JIS H 5202のAC2A製、JIS G 5501のFC製とそれぞれ同等以上のものとし、ストレナは、JIS G 3555のステンレス製スクリーン張り又は同等以上とし、取り外し及び交換が可能な構造とする。
 - 3) ノズルを急閉した時、水槌作用を防止することが可能な調圧弁及びサージタンクを設ける。
 - 4) 各コック及び弁類は、努めて遠隔操作が可能な急開閉式とし、各継手は、ビクトリックジョイントを併用して取付け及び取外しを容易にする。
 - 5) 後車輪前方左側に、吸入口及び配管を設ける。
- h) **フィルターセパレータ**
- 1) 給油ポンプの吐出側に取り付け、出入口の圧力を示す差圧計、着脱式のカートリッジ、空気分離器及びドレン弁を取り付ける。
なお、最大流量は、600L/minとする。
 - 2) フィルターセパレータは、機械室内でエレメントの交換が可能な位置に1組取り付け、整備が可能な構造とする。
 - 3) フィルターセパレータの入口及び出口の圧力差を表示する差圧計は、操作員が視認できる位置で、かつ、流量計の近くに取り付ける。
 - 4) フィルターセパレータのろ過性能は、0.5mg/L以下、遊離水分性能は、10ppm以下とする。
- i) **流量計** 流量計は、50mm流量計とし、操作員が地上に立って容易に確認することが可能な位置に2組取り付け、流量計の戻しレバーを操作を可能とする握り棒及びステップを取り付けるほか、次による。
- 1) **形式** 積算計付数字表示式
 - 2) **計算範囲** 9999以上
 - 3) **積算範囲** 1-9999999以上
 - 4) **許容誤差** ±0.5%以下（ただし、100L/min-300L/minの流量範囲）
- j) **ホースリール** ホースリールは、次による。
- 1) ホースリールは、JIS G 3101のSS400製の外径400mmのドラム形又は同等のものとし、軸と配管は、ベアリングとOリングにより円滑で、かつ、気密接続され、軸とホースは、L形継手によりホースの巻取りに支障のないよう接続されなければならない。また、ホースリールは、ディスチャージホース（内径38mm）15mを巻き取るのに十分な大きさとし、2組を機械室内に設ける。

品 名	2000G燃料給油車（改）
-----	---------------

- 2) ホース巻取りのためのホースリールの回転は、モータにより行うものとし、必要によりクラッチ、減速装置を使用することが可能でなければならない。
 なお、ホースリールモータは、可燃性の蒸気の引火しない構造とし、モータ故障の際は、手動により使用することが可能でなければならない。
 - 3) ホースリールの近くには、ホースの巻取り巻戻しを円滑にするためホースガイドローラを取り付ける。
- k) **アース線** アース線は、次による。
- 1) 航空機用アースは、直径2.38mm（基準）、長さ18m（基準）のプラスチックなどで被覆した耐食網線を使用し、その先端を二又とし、一方に航空機接続用クランプMIL-C-83413又は同等のもの、もう一方に、アースプラグMS 3493 又は同等のものを取り付け、アースリールにより自動的に巻き取られる構造とする。
 - 2) グランドアース線は、直径2.38mm（基準）、長さ18m（基準）のプラスチックなどで被覆した耐食網線を使用し、先端に、クランプMIL-C-83413 又は同等のものを取り付ける。
 なお、アースリールにより自動的に巻き取られる構造とする。
 - 3) ホース用アース線は、直径2.38mm（基準）、長さ1.8m（基準）のプラスチックなどで被覆した耐食網線を使用し、先端にアースプラグMS 3493 又は同等のものをピストルノズルに取り付ける。
- l) **アース板** アース板は、燃料施設のアースチャックと結合し、かつ、クランプMIL-C-83413 又は同等以上のもので結合可能な構造とし、後車輪前方左右（付図2 基準）に各1EA取り付け。
- m) **アースポイント** アースポイントは、次による。
- 1) 運転室両側のリヤクォーターパネルに、ステンレス製のアシストハンドル（握り棒）を取り付ける。
 - 2) アシストハンドルとシャシ間の導通は、10kΩ以下とする。
 - 3) アシストハンドル付近の適切な箇所に付図3 で示す表示を行う。
- n) **検尺** 検尺は、JIS H 3250のC3602 製又はJIS H 4100のA6063 S 製のものに目盛（リットル）を刻んだものとし、タンク内に設けられた検尺取付装置（ふた付）内に収納する。
- o) **ディスチャージホース** ディスチャージホースは、38mm×15mホース2EAとし、耐油性があり、JIS K 6343の送油用ゴムホース又は同等以上のもの若しくは導電性ゴムを使用したホースとするほか、次による。
 なお、ホース先端は、シングルポイントノズル又はピストルノズルを容易に着脱可能な（突合せ固定式結合金具付）構造とする。
- 1) ホース先端には、シングルポイントノズル及びピストルノズルを（各1EA）取り付ける。

品 名	2000G燃料給油車（改）
-----	---------------

- 2) ディスチャージホースと各ノズル接続部には、スイベルジョイント等を入れ、ねじれを吸収する構造とする。
 - 3) 最大常用圧力の2倍以上の圧力で水圧試験を行い、漏えい、その他異常があつてはならない。
 - 4) シングルポイントノズル及びピストルノズルを格納する箱を適当な位置に取り付ける。
なお、努めて水密を保持し、雨水の侵入があつても、機能の損傷がないよう対策する。
- p) **インターロック装置** インターロック装置は、次による。
- 1) 給油ホースが適性に格納されないと発進できない構造とする。
なお、非常時においては、解除スイッチを操作することにより発進できるものとする。
 - 2) 充填口からカプラ又はノズルが正常に取り外されないと発進できない構造とする。
なお、非常時においては、解除スイッチを操作することにより発進できる構造とする。
- q) **デットマン装置** 給油配管の適当な位置に、操作員が開放操作実施時のみ開放する、自動閉鎖の開閉装置を設ける。
なお、開放操作の実施位置は、給油作業全般が監視できる位置とする。
- r) **機械室** 機械室は、JIS G 3101のSS400製形鋼又は同等のものにより骨組みをなし、0.8～1.2mmのJIS G 3131のSPHC、JIS G 3141のSPCC張りそれぞれ同等のものとし、左右側面に扉を設け、後部扉は、全面観音開きとする。天井は、努めて水密を保持し、雨水の侵入があつても、機能の損傷がないよう対策する。
なお、機械室下部は、予備タイヤを格納可能な構造とする。
- s) **消火器装置** 消火器装置は、次による。
- 1) 粉末消火器ABC・3.5kg・自動車用の収納箱をタンク左右下部に各1EAを取り付ける。
 - 2) 固定式消火装置は、6.8kgの炭酸ガスボンベを後部機械室に設け、ボンベからフィルターセパレータ及びホースリール上部に噴出ノズルを配管し、緊急時に地上から容易に操作可能な構造とする。
- t) **電気装置** 電気装置は、次による。
- 1) **センサー回路** センサー回路は、次による。
 - 1.1) I型には、光方式センサー用の燃料施設で充てん可能な電気回路を設け、燃料施設のモニターとの結合部は、後車輪前方左右（付図2基準）にコネクタ（7極）を各1EA設ける。
 - 1.2) II型には、燃料施設のモニターと光方式センサー間の電気パルス送受信用電気装置を設け、燃料施設のモニターとの結合部は、後車輪前方左右（付図2基準）にコネクタ（7極）を各1EA設ける。

品 名	2000G燃料給油車（改）
-----	---------------

- 2) 上面航空標識灯は、操縦室上部左右及び機械室上面の後端左右に各 1 E A 黄赤色灯（15W）を取り付ける。
- 3) 作業灯は、車体後部の左右上部に回転及び上下移動作業灯を各 1 E A 取り付け、平時は、車体上面付近に置き、必要に応じて、機械室上面より 150mm 以上高く出せる構造とする。
- 4) 車体の電気配線は、導管内に納め、裸電線が車体又は内部の機械器具に接触しない構造とする。
- 5) 防護枠内及び機械室内の電気配線は、金属管内又はフレキシブルチューブ内に納め、配線する。ただし、キャブタイヤケーブルを使用する場合は、この限りではない。
- 6) 機械室内の電気配線接続端子部は、金属性保護箱で周囲をカバーする構造とする。
- u) **元弁急閉装置** タンク底部に底弁を設け、非常の場合に直ちに閉鎖できる手動及び自動の閉鎖装置を取り付ける。
- v) **底弁操作装置** 底弁操作装置は、次による。
 - 1) I 型には、機械室内に 1 E A 設ける。
 - 2) II 型には、機械室内及びタンク右に各 1 E A 設ける。
- w) **緊急移送停止装置** 緊急移送停止装置は、給油設備のポンプ機器を停止する等によりタンクからの燃料の移送を緊急に止めることが可能な装置を設ける。
- x) **その他** その他は、次による。
 - 1) 車両後部には、タンク及びその附属装置の損傷を防止できるバンパを設ける。
 - 2) 火花防止装置を備える。ただし、自衛隊の使用する自動車の保安基準等について（通達）の保安基準表 26 の 2 に規定する、窒素酸化物排出自動車等の特例に適合している車両である場合は、火花防止装置の取付けは不要とし、適合している旨を車両の見やすい位置に表示しなければならない。
 - 3) 政令に基づく表示及び標識を設ける。
 - 4) 寒冷地仕様（製造会社仕様）の必要の有無は、調達要領指定書により指定する。

2.3.2 形状

形状は、付図 2 を基準とし、細部は、承認図面による。

2.4 寸法・質量

2.4.1 寸法

寸法は、次によるほか、細部は、承認図面による。

- a) 全長 最大 10 000 mm
- b) 全幅 最大 2 500 mm
- c) 全高 最大 3 200 mm

2.4.2 質量

質量は、次による。

- a) 車両質量 最大 13 460 kg
- b) 最大積載量 8 300 kg

品 名	2000G燃料給油車（改）
-----	---------------

- c) 乗員（3名） 240kg
- d) 車両総質量 最大22000kg

2.5 性能

2.5.1 車両性能

車両性能は、積載状態において、次の性能を有する。

なお、計算値を可とする。

- a) 最高速度 60 km/h 以上
- b) 登坂能力 (tan θ) 0.28 以上
- c) 最小回転半径 9800 mm 以下

2.5.2 給油性能

給油性能は、ノズル吐出量（左右合計）500 L/min 以上（ポンプ回転数2630 rpm において）とする。

2.5.3 充てん性能

充てん性能は、次による。

- a) 左右の各充てん口から2270 L/min 以上で充てんすることが可能でなければならない。
- b) 充てん自動停止（I型のみ）は、規定液面高さで自動的に停止することが可能でなければならない。

2.6 外観

外観は、次による。

- a) きず、割れ、まくれ、その他の有害な欠陥があってはならない。
- b) 各部の塗装及びめっきにむらがあってはならない。
- c) 塗装は、C&LPS-V00008の2.3によるほか、次による。
 - 1) 車体外部（ディスクホイールを除く。）は、製造会社仕様塗料を使用し、NDS Z 8201の色番号2314 OD色により塗装する。
 なお、細部は、承認図面及び色見本による。
 - 2) 車体下部は、製造会社仕様の黒色で塗装する。
 - 3) タンク、各配管、フィルターセパレータ、ポンプ内面等のうち、燃料に接触する部分でグリットブラストの必要なものは、その処理をしたうえ、下地処理を行って耐燃料塗料（エポキシ樹脂系）を4回以上塗装し、防食被膜（厚さ0.2 mm～0.5 mm）を行う。ただし、上記内面中ステンレス、銅合金部、アルミニウム合金及びタンク積載物に支障をきたさない処置を施した部分は、除く。
 - 4) 機械室内部は、炭酸ガスポンベを除き、すべて各部完全なさび落としを行い、さび止めの後、下塗り及びきず拾いを行い、JIS K 5572のダルスカイを3回以上塗装する。

品 名	2000G燃料給油車（改）
-----	---------------

2.7 製品の表示

製品の表示は、C&LPS-V00008の2.4によるほか、特定化学物質及び有害物質については、C&LPS-Y00007の2.4.4による。

なお、自動車番号標は、C&LPS-V00008の2.4.4の表2の車両法適用除外指定の車両の規格とする。

3 監督・検査

監督及び検査は、契約担当官等の定める監督及び検査実施要領に基づき実施する。

4 出荷条件

出荷条件は、商慣習による。

5 その他の指示

5.1 提出書類等

提出書類等は、次による。

- a) 類別原資料は、C&LPS-Y00007の4.1.1による。
- b) 特定化学物質等の資料は、C&LPS-Y00007の4.1.3による。
- c) 取扱説明書等は、C&LPS-V00008の5.1.2による。
- d) 車両法適用除外指定申出書関連書類は、C&LPS-V00008の5.1.3による。
- e) 危険物貯蔵所設置許可申請書関連書類は、C&LPS-V00008の5.1.4による。
- f) 完成写真等は、C&LPS-V00008の5.1.5による。
- g) 車両等主要諸元資料は、C&LPS-V00008の5.1.6による。

5.2 自動車検査証・車歴簿

自動車検査証及び車歴簿は、C&LPS-V00008の5.3及び5.5による。

5.3 附属品・予備品

附属品及び予備品は、C&LPS-V00008の5.6によるほか、次による。

- a) 附属品は、次による。
 - 1) 油圧式携行ジャッキ（製造会社仕様） 1SE
 - 2) 非常信号灯（道路運送車両法の保安基準適合品，乾電池式，懐中電灯兼用式） 1EA
 - 3) 粉末消火器ABC・1.8kg・自動車用（消防法及び国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第6条及び第7条の規格の適合品，リサイクルシール付） 1EA
 - 4) 粉末消火器ABC・3.5kg・自動車用（消防法及び国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第6条及び第7条の規格の適合品，リサイクルシール付） 2EA
 - 5) 給油装置に使用する製造会社仕様工具（ベリリウム銅合金のノンスパークタイプ） 1SE
 - 6) アダプタ（吸入口に38mm ディスチャージホースが接続可能なもの） 1EA
- b) 予備品は、次による。
 - 1) 予備タイヤは、製造会社仕様（ホイール付）1本とする。
 - 2) スタッドレスタイヤ（1両分）の必要の有無は、調達要領指定書により指定する。

品 名	2000G燃料給油車（改）
-----	---------------

5.4 承認用図面・色見本

承認用図面及び色見本は、次による。

- a) 承認用図面 契約の相手方は、C&LPS-Y00007の4.3により、次の承認用図面を作成の上、提出し、承認を受ける。
- b) 色見本 契約の相手方は、C&LPS-Y00007の4.3により、色見本を作成の上、提出し、承認を受ける。
なお、色見本の細部については、C&LPS-V00008の2.3.4によるものとし、承認を受ける色は、車体外部の塗料の色とする。

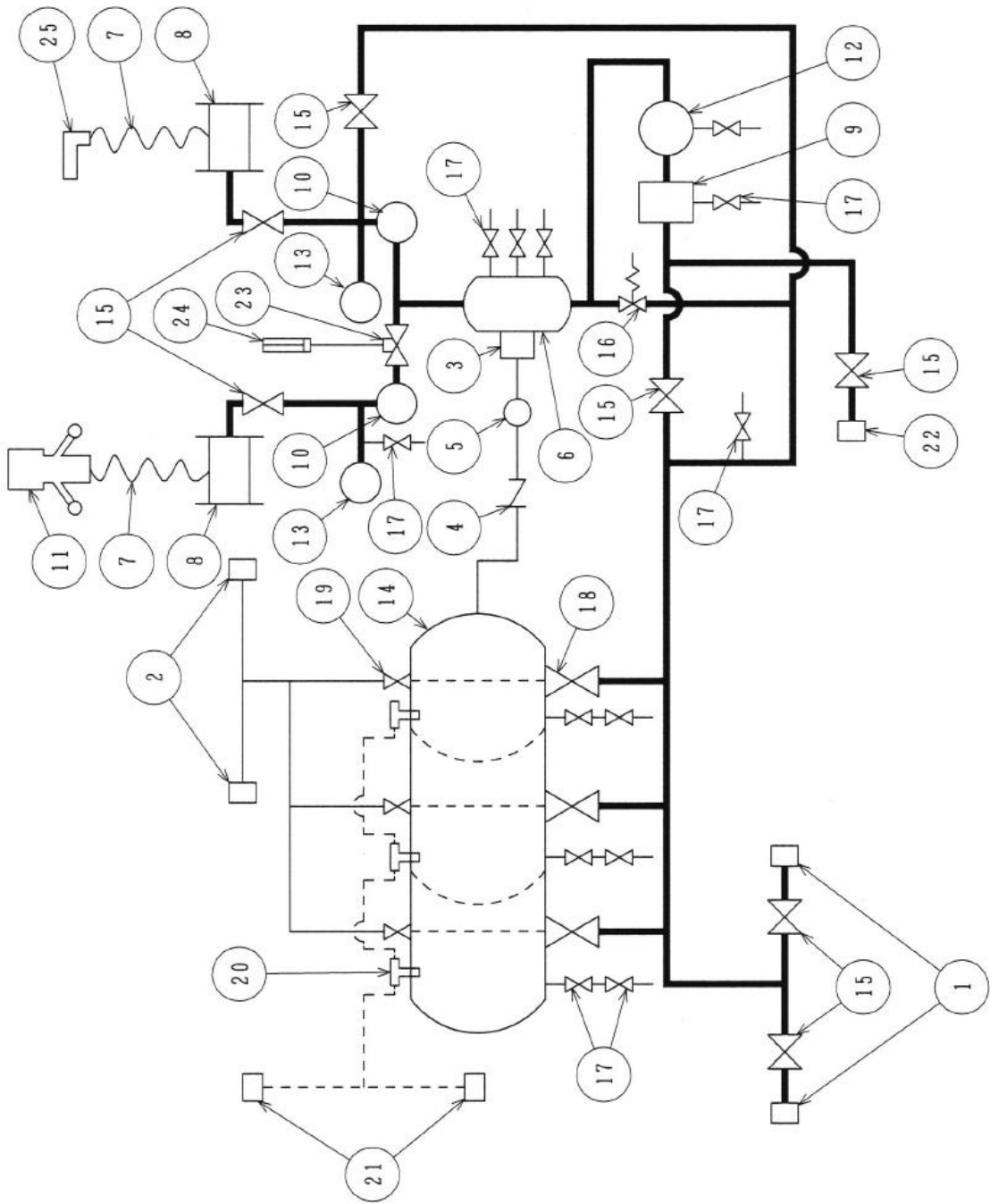
5.5 装備品等不具合報告（UR）対策

装備品等不具合報告（UR）対策は、C&LPS-Y00007の4.4による。

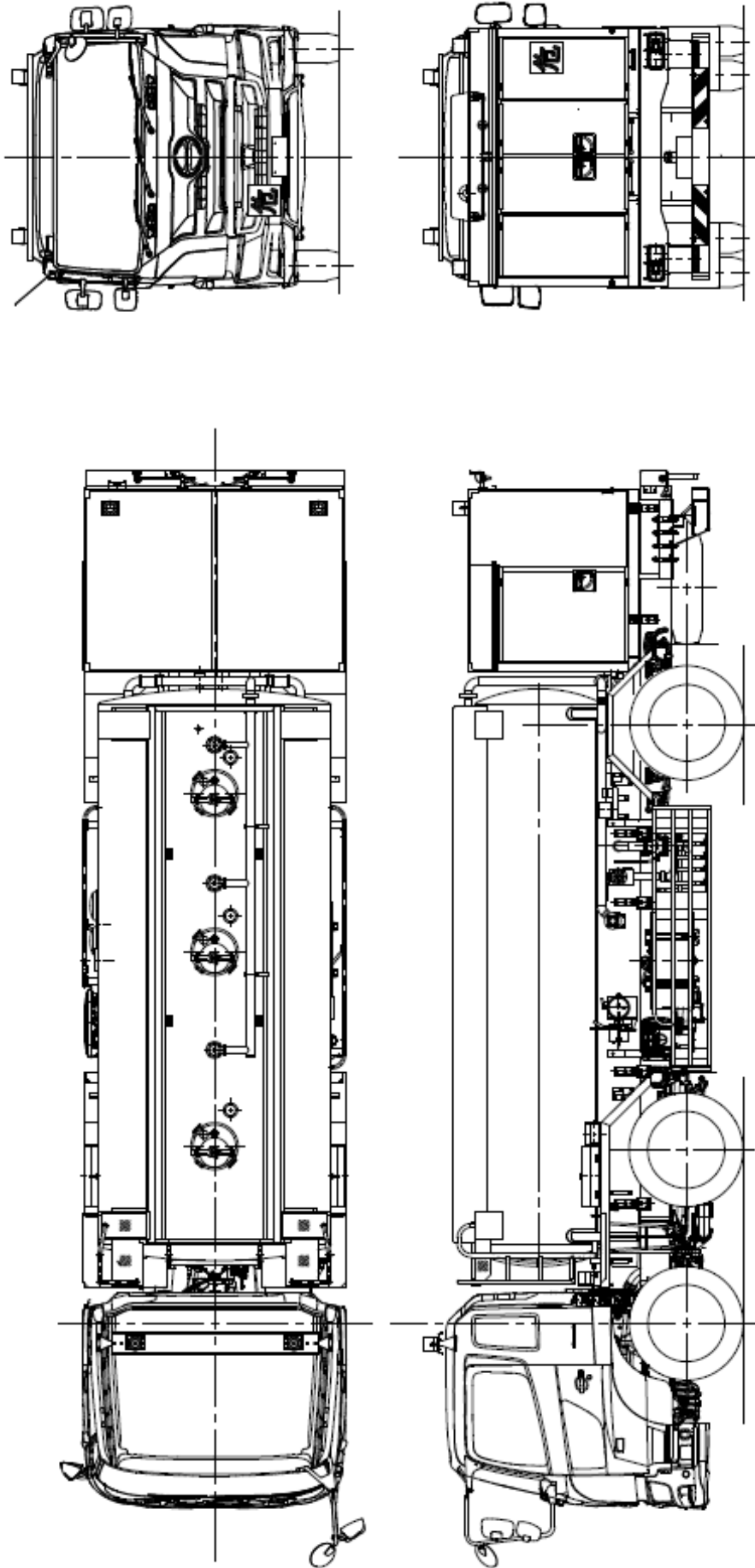
5.6 技術変更提案（ECP）

技術変更提案（ECP）は、C&LPS-Y00007の4.7による。

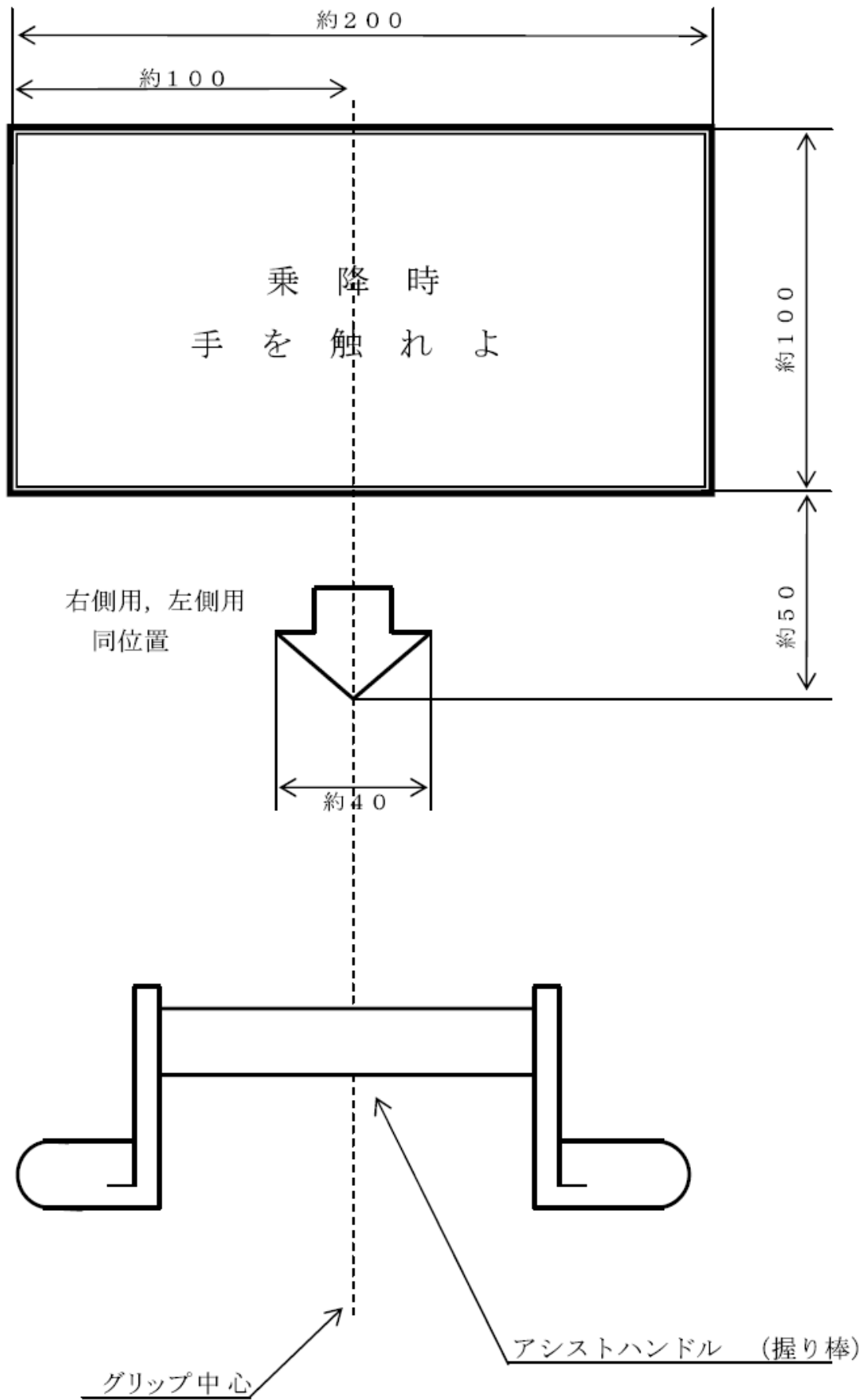
番号	名 称
1	ボトムロ-ディンガアダプタ
2	カップリング
3	エア-エリミネータ
4	逆止弁
5	フロ-インジケータ
6	フィルタ-セパレータ
7	ディスプレイチャ-ジホース
8	ホ-スリール
9	ラインストレ-ナ
10	液量計
11	シングルポイントノズル
12	ポンプ
13	ショックアレスタ
14	タンク
15	バルブ
16	バイパスバルブ
17	ドレーンバルブ
18	ポンプ
19	ペ-バ-回収弁
20	センサー (光方式)
21	コネクタ (7極)
22	費入口
23	自動閉鎖弁
24	トリガ
25	ピストルノズル



付図1 - 2000G燃料給油車 (改) 配管系統図 (基準) e3w



付図2-2000G燃料給油車(改)の形状



付図3-表示